科目名	生理機能検査学	分野・必選別・単位数	共通科目	必修	2単位

担当教員	◎准教授　咲間妙子　　准教授　田嶋明彦　　講師　崎原ことえ						
課程	博士前期	配当年次	1年	配当学期	前期	授業方法	講義

授業の概要	生体の働きを生理学、画像診断学、情報工学に立脚して解析する教育研究を行う。同時に、生体の高次システム機能を非侵襲的に測定するための生体機能検査法の開発、改良に関する教育研究方法を行う。
授業の到達目標	①神経系・筋肉系・感覚器系・循環器系などの検査法を説明できる。 ②これらの情報をもとに生体での検査結果を判読・説明できる。

授業計画

回数	担当者	行動目標
1	田嶋　明彦　　准教授	心電図検査の基礎的事項を説明できる。 KW:誘導, 刺激伝導系
2	田嶋　明彦　　准教授	心電図検査の基礎的事項を説明できる。 KW:記録設定, 正常所見
3	田嶋　明彦　　准教授	呼吸機能検査を説明できる。 KW:換気力学, スパイロメトリー, 呼吸細気管支, 機能的残気量
4	田嶋　明彦　　准教授	呼吸機能検査を説明できる。 KW:血液ガス分析, フローボリューム曲線
5	田嶋　明彦　　准教授	呼吸機能検査を説明できる。 KW:静肺コンプライアンス, 拡散能, 気道抵抗
6	崎原ことえ　　講　師	中枢神経の検査法を説明できる。(1) KW:大脳皮質, 脳波, 脳磁図, 光トポグラフィー
7	崎原ことえ　　講　師	中枢神経の検査法を説明できる。(2) KW:事象関連電位, P300, オドボール
8	崎原ことえ　　講　師	中枢神経の検査法を説明できる。(3) KW:錐体路, 経頭蓋磁気刺激
9	崎原ことえ　　講　師	中枢神経の検査法を説明できる。(4) KW:錐体外路, 小脳, 経頭蓋磁気刺激
10	崎原ことえ　　講　師	神経心理学的検査について説明できる。 KW:WISC, K-ABC, MABC
11	咲間　妙子　　准教授	脳波検査について説明できる。 KW:基礎律動, 脳機能, シナプス, 活動電位
12	咲間　妙子　　准教授	脳波検査について説明できる。 KW: 異常波, 賦活
13	咲間　妙子　　准教授	睡眠の基礎と睡眠関連検査について説明できる。 KW:SIT, PSG, セロトニン, ドーパミン, 視交叉上核, 睡眠物質
14	咲間　妙子　　准教授	睡眠障害とその検査・臨床所見を説明できる。 KW: 概日リズム睡眠覚醒障害, 睡眠時無呼吸症候群,MIBGシンチグラフィ, MOCA test
15	咲間　妙子　　准教授	心拍変動解析について説明できる。 KW:complex demodulation method, LF, HF, 周期性四肢運動障害, レム睡眠行動障害

事前事後学修の内容およびそれに必要な時間		
	【事前学修】	指定したテキストの次回授業部分を事前に読んでおくこと。 次回の授業内容を予習し、用語の意味等を理解しておくこと。
	【事後学修】	授業中の疑問点をまとめ、関連する文献等を利用し、次回授業までに解決しておくこと。
	【必要時間】	当該期間に30時間以上の予復習が必要。

教科書	随時　指示する。
参考書	随時　指示する。
成績評価の方法および基準	口頭試問80%、レポート20%で評価する。
その他履修上の注意事項	試験やレポート等に対し、講義の中での解説等のフィードバックを行う。 カリキュラムマップのDP2が、この科目と本専攻の学位授与方針との関連を示している。